一関東中学校報
識己研能
No. 10
2024（R6）,9,6（金）

来週は地区駅伝。たすきをつなげ！ベストを尽くせ！

校訓「己を識り、能を研く」　教育目標「知の研鑽・清澄な心・壮健な体」　文責：菅原理

「本物」に、こだわりたい。
～ THE GREAT CHALLENGES ～

「中学生」という若く瑞々しい世代だから尚更、「本物」にこだわりたい。挑戦しようという気持ちが行動を起こし、行動が経験となる。経験は学びとなり、世界を広げ、新たな挑戦への意欲となる。**「頑張った人は、頑張った分だけ良い思いをする」**のです。

本気の挑戦は、本物への扉。先日行われた二つの大会に関わる本校の生徒を紹介します。2 人の発表はどちらも 10 月に行われる本校文化祭にて発表されます。どうぞお楽しみに！

第 16 回一関地方英語暗唱大会

第 4 位・3 年
白石　紅愛さん

8 月 23 日（金）川崎市民センターにて行われた本大会に、本校から 3 年生白石紅愛さんが出場、4 位に入賞しました。タイトルは「Audrey Hepburn」。世界的な映画スター、オードリー・ヘップバーンの人生についてのスピーチでした。幼少期を第 2 次世界大戦中、ドイツ占領下のオランダで過ごしたオードリー、映画界で大きな功績を残した後、アフリカ、アジア、南アメリカなどの貧しく危険な地域に暮らす子どもたちに心を寄せ、国連の国際児童基金（UNICEF）の活動をライフワークとした人でもありました。

昨年度に引き続きこの大会に挑戦した紅愛さん、堂々とした発表でした。

R6「わたしの主張」一関地区大会

最優秀賞・3 年
三澤愛琳和さん

8 月 27 日（火）、一関文化センターにて開催された本大会に、3 年生の三澤愛琳和さんが出場し、最優秀賞を受賞しました。タイトルは「正しい選択」。部活動選択の「自己決定」が自らを成長させたという体験を通し、「正しさ」について、広い視野で考えを深め、「自己決定の意味」を訴えました。**愛琳和さんの持つ言葉の力と爽やかな発表が高く評価されました。**

また本校は"「わたしの主張」協力校"として、生徒会執行が進行の手伝い、1・3 年生が会場にて各校の代表によるスピーチを聞く機会に恵まれました。同世代のスピーチが、考えの幅を広げるきっかけになったのではないかと思います。**会場での本校生徒の姿勢・態度にも、お褒めの言葉をいただきました。**

「本物」に触れる

☆校報 No. 8 で、**「今の中学生は、様々なチャンスに恵まれている」**と書きました。
　2 学期もさっそく、様々な「本物」に触れる機会がありましたので紹介します。
たくさんの出会い、様々な刺激によって、**自らの手で、どんどん可能を伸ばしていってほしい**です。

3 年生 ★東大生出前授業

　8 月 23 日（金）、一関文化会議所主催「東大生出前授業」が行われました。東京大学の“**サイエンスコミュニケーションサークル *CAST*”** に所属する学生が来校し、**実験を通して「科学の面白さ」**を伝えてくれました。科学の面白さはもちろん、**自分の興味のあることを、自ら出向いて「世の中に還元しよう」という学生**と出会えたことは、進路選択を目の前にした 3 年生にとって、大きな刺激になりました。

1年生 ★地域学習「平泉」研修

　8 月 23 日（金）、県南教育事務所より佐々木正輝社会指導主事を迎え、**奥州藤原氏**が**戦争のない世の中をめざして浄土思想（仏教）の教えに基づいた理想郷をつくろうとした**こと、それが**「平泉の文化遺産」**として、国連教育科学文化機関（UNESCO）により**世界遺産**に指定されたことなどを学びました。また 29 日（木）には実際に平泉に行き、中尊寺での座禅体験の後、グループごとに毛越寺や高舘義経堂、無量光院跡、柳之御所跡などをめぐり、平泉の歴史文化を体感しました。

2年生 ★社会体験学習

　8 月 26~30 日の 5 日間、2 年生は市内の様々な事業所にて、社会体験学習を行いました。同世代・顔なじみの集まる「学校」を離れ、様々な世代・知らない人で構成される「社会」に、生徒達は、ある種の緊張感と期待・不安を持って飛び込みました。

　「働く」ことは**「収入を得る」**こと。それと同時に**「社会貢献する」「誰かの役に立つことができる」**ということでもあります。どの事業所でも、**生徒は生き生きとした表情**をしていました。お忙しい中、お世話くださった事業所の皆さんに、心から感謝です！